



健康福祉常任委員会で質問する大山府議

## 大阪府議会定例会 健康福祉常任委員会報告 (2022年2月24日～3月24日)

### コロナ後遺症! 体調や生活に深刻な影響 支援の充実強化と新たにリーフレットを作成し 広く周知を行うことに!



新型コロナウイルス感染症に感染した後、後遺症に悩まされている方が多くあり、中には1年以上たっても体調不良が続き仕事に復帰できないケースも出ている。

府においては、これまで我が党の推進で、コロナ後遺症に関する相談窓口の設置や医療機関向けの専門家によるセミナーの実施、後遺症受診可能医療機関の整備など、様々な対策を講じてきた。しかし第六波ではこれまでにない大規模の感染が続き、後遺症に苦しむ方も増えている。さらに、今後第六波を上回る感染拡大が起こる可能性もある中、後遺症への対策をさらに強化するよう求めた。

府は、対策を今後さらに強化するとともに、新たに後遺症の症状や相談内容、相談窓口の連絡先等をまとめたリーフレットを作成し、広く周知に努めると答えた。

### 府民の健康アプリ「アスマイル」に新たな機能搭載! 「AIの健康予測」に加え「個人に応じたお知らせ機能」「マイナポータル等との連携」等を 搭載予定!動画コンテンツも検討!

これまで推進してきた、府民の健康アプリ「アスマイル」では、健診データを活用した健康予測AIを搭載するなど先進的な取り組みを進めてきたが、「運動する」「体を動かす」ことを動画配信で見ってもらうコンテンツは無かった。来年度からの第2期アスマイルにおいて、新たな機能を追加するとともに、アスマイルの活用の幅を広げるためにも、動画のコンテンツも導入すべきと提案した。

府は、来年度以降、個人ごとの健康行動に着目し改善点を提案する「健康予測AI・推奨モデル」の構築をはじめ、個人に応じたお知らせを行う「リコメンド機能」、マイナポータルや民間との連携を進める機能を追加していく予定。動画についても、場所や年齢を問わず、府民が健康づくりに取り組みやすい動画の提供方法を検討し、健康コンテンツの充実を図ると答えた。



### 聴覚障がい児の切れ目のない支援が充実! 福祉情報コミュニケーションセンターを中心に関係機関の連携体制を強化! 支援手引書の内容充実で一層の早期支援の強化!

令和2年度に聴覚障がい児支援の中核施設としてオープンした福祉情報コミュニケーションセンターを中心に、関係機関等の連携体制をさらに強化するとともに、実務面においても支援手引書の内容を充実するなど、聴覚障がい児の切れ目のない支援を実現することを提案。

府は、福祉情報コミュニケーションセンターを中核施設として、切れ目のない支援に向け、関係機関の支援者が情報や手続きを共有するとともに、聴覚障がいの診断が確定していない段階での支援も実施、さらに支援手引書の内容を充実し支援力の強化を図ると答えた。



### コロナワクチン3回目接種を加速! 職域接種会場を視察!

一般社団法人歯科技工士会が大阪市内のホテルで実施している職域接種会場を視察。1回目、2回目の経験を活かしての実施内容を聴き、自治体を含めての3回目ワクチン接種の円滑化へつなげていきたい。



### 八尾空港西側跡地を視察! 住宅・生活サービス等の複合拠点へ!

大阪メトロ八尾南駅北側の約9.2haの広大な国有地が40年近く活用されていなかった。8年前にも視察を行い、国、府、市の取り組みを促してきた結果、ようやく「八尾空港西側跡地検討会議」が今春から民間の提案を募る市場調査を行うことに。利便性の高い土地が有効活用されるよう、今後も取り組んでいきたい。

